

投資的事業評価調書（新規）

部課室名	治山課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	治山課長 打浪 久淳 (船田 穰)	内線	4128 (4132)
------	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業細目	治山事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.2 億円
		環境防災林整備事業	新宮地区	内用地補償費	- 億円
所在地		事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度	
揖保郡新宮町新宮		H15	H15	H17	
事業の目的			事業内容		
<p>新宮町中心部に面した落石等の危険性が高い山麓部地域において、地域住民の生活基盤の確保と生活環境の向上を図るため、山地災害防止と生活環境保全対策を総合的に実施する。</p>			<p>落石防止柵工 120m (国 50%、県 50%)</p> <p>岩石固定工 0.20ha (国 50%、県 50%)</p> <p>森林整備(植栽、あずまやなど) 2ha (国 50%、県 50%)</p>		
評価視点	評価結果の説明				
(1) 必要性	<p>事業地は山地災害危険地（Aランク）内にあり、国民宿舎「志んぐ荘」、教会、道路及び人家の裏山にあたる急傾斜の山腹斜面である。</p> <p>保全対象の国民宿舎「志んぐ荘」は町営である上、宿泊者及び利用者が多いことから公共性が極めて高く、周辺区域も「東山公園」として整備されており、森林への入り込み利用者も多い。</p> <p>一方、本地域では山腹斜面には不安定土石が多くあることから、町道への落石が発生するなど、地域住民に大きな不安を与えており、住民の安全、安心及び森林空間の利用促進等のために落石対策工事を総合的に実施するものである。</p> <p>当該事業は、第九次治山事業七箇年計画に基づき、全体計画及び各年度の事業計画を定めて事業実施が計画的に行われるものであり、事業地は町有地であるため町の承諾及び地元の協力体制も整い、地元受益者からのこれら要望も非常に高いため実施するものである。</p>				
(2) 有効性 効率性	<p>当該事業の投資効率は、落石等の災害防止効果便益などを算出した結果、3.01 となっており、高い事業効果が期待できる。</p> <p>また、保安林内で行う事業であり、他事業による施行は困難である。</p>				
(3) 環境適合性	<p>当該事業地は、清流揖保川沿いの景勝地であり、また町営公園が隣接していることなどから、特に景観・環境の維持に重点をおく計画である。落石防止柵工に設置する緩衝材やあずまや等に間伐材等を用い、木材の利用増進を図るとともに、自然環境の保全と緑豊かな生活環境の整備に配慮する。</p>				
(4) 優先性	<p>山腹斜面に不安定な岩が多数点在し、落石等災害の危険性が高いため早急に対策を講じる必要がある。</p>				